

列車に乗ろう

第18回MRまつり

第18回MRまつりが10月20日、文化会館前広場で開催されました。

MRまつりは毎年、10月14日の「鉄道の日」にちなんで松浦鉄道株式会社の主催により開催されています。

この日は、ミニSL運転試乗会やビンゴゲーム、MRイメージソングの発表会のほか、ヨーヨー釣りやサイコロゲームのコーナーが設けられ、多くの家族連れなどでにぎわいました。



子どもの音楽会

すくすくフェスタ

松浦市保育会が主催する子育て支援事業「すくすくフェスタ」が10月21日、文化会館で開催されました。

このイベントは、地域・保護者・保育所が交流を深め、子育てに関する共通認識を持ち、よりよい子育て環境をつくることを目的として実施されたものです。

この日は木管アンサンブル・ポエのコンサートが行われ、会場に訪れた親子連れなどは楽しいひとときを過ごしました。



まちの話題

Matsuura City Topics

松浦の魅力を発信します！

松浦よかここ大使

各イベントで松浦市の魅力をPRする松浦よかここ大使に徳田真子さん（福島・伊万里釜）が選ばれました。

徳田さんは伊万里市内の高校を卒業後、同市内の病院でシステムエンジニアとして働く21歳。休日には自分で車を運転し、いろいろな所へ出かけることが大好きな、ドライブが趣味の活発な女性です。

徳田さんは「よかここ大使に選んでもらい、とても嬉しい。これから1年間松浦をとことん知ってどんどんPRしていきたい」と話していました。



市長と対話しゅうかい！

市長とみんなで対話しゅうかい

10月1日から18日にかけて、「市長とみんなで対話しゅうかい」が開催されました。

この会はまちづくり市民懇話会に代わり今年度から始めたもので、今回は、福祉の分野から“安心して暮らせる福祉のまちづくり・子育てにやさしいまちづくり・健やかに生活できるまちづくり”の3つのテーマで参加グループを募集し、申し込みのあった3つのグループを対象に行われました。

会では本市の主な取り組みの説明があった後、参加者との活発な意見交換が行われました。



まちをきれいに

九電工松浦営業所

九電工松浦営業所が10月24日、松浦中央公園の清掃活動を行いました。

九電工は「さわやかコミュニティ旬間(10月15日～26日)」に社会貢献活動の一環として、毎年清掃活動を行っています。

この日は、竹ぼうきを使って公園内の落ち葉を集めたり、空き缶などのゴミを拾ったりしながら清掃活動に汗を流しました。



未来を担う子どもたちを応援！

松浦市ゴルフ愛好会

松浦市ゴルフ愛好会(平田昭三会長)が10月29日、市役所を訪れ、第3回松浦市民親睦ゴルフ大会(10月21日開催)の参加費の一部などを市に寄付しました。

同ゴルフ大会は、スポーツの振興と健康増進、市民の融和と親睦を目的に毎年開催されています。今回の大会には176人が参加。コース内にはチャリティホールが設置されるなど、慈善活動を兼ねた大会となっています。寄附金は、学校教材の購入など、教育振興のために役立てられます。



みんなで過ごす楽しい時間

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ(百武裕二会長、会員28人)が10月23日、市内小中学校の特別支援学級に通う児童・生徒を佐世保市の九十九島動植物園「森きらら」に招待しました。

この事業は、同クラブの新世代委員会を中心に毎年この時期に実施され、約30年間続けられています。

この日は、児童・生徒34人と引率者31人が参加。子どもたちは、たくさんの動物たちと触れ合いながら、楽しい一日を過ごしました。

百武会長は、「私たちにとっても、心満たされるやりがいのある事業。子どもたちに会えることを毎年楽しみにしています」と思いを述べました。



大規模施設災害に備えて

石油コンビナート等総合防災訓練

長崎県石油コンビナート等総合防災訓練が10月24日、福島地区石油コンビナート等特別防災区域などで実施されました。

訓練では、長崎県北部を震源とする地震発生を想定して実施。災害対策本部の設置運営、ガス漏えいによるタンク火災や停泊中のタンカー火災、負傷者の救出や行方不明者の捜索訓練などが行われました。

この日は、九州液化瓦斯福島基地、福島国家石油ガス備蓄基地の職員など14機関、約200人が参加。ヘリコプター、船舶、消防車両などを使用し、実践さながらの訓練を行いました。

